

ウポポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

令和3年10月20日

「防災・減災シンポジウム」の開催

～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～

北海道開発局では、切迫する日本海溝・千島海溝巨大地震へいかに備え自助・共助・公助のバランスが取れた「災害に強くしなやかな社会づくり」に取り組むかを考える機会として、「防災・減災シンポジウム」を下記のとおり開催します。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、シンポジウムは、インターネットを通じ配信いたします。

記

- 1 日 時 令和3年11月12日（金）13：30～15：30
- 2 開催方法 オンライン開催（Zoomウェビナーにて函館市内からのライブ配信）
- 3 内 容 ○「渡島・檜山地域の地震・津波対策の取組」
 - ・事例1（函館市総務部災害対策課主査 鶴岡 崇男氏）
 - ・事例2（上ノ国町施設課土木建築グループ主査 八木橋 武氏）○基調講演：「命を守る」迫り来る日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への対応
 - ・東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会 会長
片田 敏孝氏
- 4 参加申込 参加を希望される方は、別添の参加申込書に必要事項を記入の上、11月9日（火）までにメールでお申し込みください。
後日、申込みいただいたメールアドレスに視聴用のウェビナーアドレス(URL)を送付いたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 函館開発建設部

防災対策官 遠藤 康晃 (0138) 42-8170

防災対策専門官 佐藤 貴弘 (0138) 42-8170

函館開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/hk/>



～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～ 防災・減災シンポジウム

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への備え

強くて、しなやかな
NATIONAL RESILIENCE
ニッポンへ

つなごう！
防災・減災



1993年 北海道南西沖地震 津波により打ち上げられた漁船（興尻町青苗）北海道新聞社提供



2011年 東日本大震災（函館市）：函館市提供

日時：2021年11月12日（金）
13:30～15:30

会場：オンライン開催【質問可能】
（Zoomウェビナーにて函館市内からライブ配信）

参加無料・事前申込制
【締切】11月9日（火）
* 定員になり次第締め切ら
せていただきます。

* 申し込みいただいた
方へは、11月10日前後
にオンライン視聴用ア
ドレス（URL）を送付
いたします。

第1部 「渡島・檜山地域の地震津波対策の取組み」

- ・事例1 函館市（総務部災害対策課主査 鶴岡 崇男氏）
- ・事例2 上ノ国町（施設課土木建築グループ 主査 八木橋 武氏）

第2部 講演「命を守る」迫り来る日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への対応

東京大学大学院情報学環 特任教授
日本災害情報学会 会長

片田敏孝氏



災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等について研究するとともに、地域での防災活動を全国各地で展開している。特に防災教育については、地域防災と連携した育みの環境ととらえた活動を展開している。また地域防災については、地域の災害文化として、災いをやり過ごす知恵や災害に立ち向かう主体的姿勢の地域での定着を図ってきた。これら一連の活動が認められ、平成24年には防災の功労者として2つの内閣総理大臣表彰を受賞している。

質疑応答 *ライブ配信中「Zoomのチャット機能」より、質問をお受けいたします。
（なお、全てに回答出来ない場合もございますので、予めご了承ください。）



本シンポジウムは、公益法人土木学会継続教育（CPD）のプログラムに認定されています【JSCE21-1178】。
土木学会以外の団体に提出する場合の方法等は提出先団体に事前にご確認ください。

お問合せ：北海道開発局事業振興部防災課【担当：黛・杉田】 TEL. 011-709-2311
主催：国土交通省北海道開発局

～今、災害に強いしなやかな社会づくりを考える～

防災・減災シンポジウム

日本海溝・千島海溝沿い巨大地震への備え

北海道の暮らしは、美しく豊かな自然に恵まれる一方、自然災害とも隣合わせにあります。本シンポジウムでは、切迫する日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震へいかに備え、自助・共助・公助のバランスがとれた「災害に強いしなやかな社会づくり」に取り組むか、みなさんと一緒に日頃からできることを考えます。

プログラム

13:30～ **開 会**

・開会挨拶 北海道開発局 事業振興部長 坂場 武彦

13:35～ **第1部**

渡島・檜山地域の地震津波対策の取組み

- ・事例1 函館市
(総務部災害対策課主査 鶴岡 崇男氏)
- ・事例2 上ノ国町
(施設課土木建築グループ 主査 八木橋 武氏)

13:50～ **第2部 講 演**

**「命を守る」迫り来る日本海溝・千島海溝沿い
巨大地震への対応**

東京大学大学院情報学環 特任教授 日本災害情報学会 会長
片田敏孝 氏

15:20～ **質疑応答**

15:30～ **閉会**

参加方法

お申込みいただいた方へ、11月10日前後に視聴用のZoomウェビナーアドレス（URL）を送付いたします。当日、お時間になりましたら、アドレスをクリックし入室下さい。

- ・視聴の際は、申し込みされた、氏名・メールアドレスでご参加ください。
***申込と異なる場合、CPD認定ができません。**
- ・質疑応答
講演に関する質疑について、ライブ配信中「Zoomウェビナー」のチャット機能より、お受けいたします。
***お時間に限りがありますので、全てのご質問にお答え出来ない場合があります。予めご了承願います。**
- ・CPD登録には、受講して得られた所見（学びや気付き）を100文字以上提出いただきます。

“シンポジウムを視聴できなかった皆さまへ”

本シンポジウムは「FMいるか」及び「NCV函館センター」の特別番組にて放送致します！！



12月18日（土）21:00～＜前編＞

12月19日（日）21:00～＜後編＞

FMいるかは、パソコンやスマートフォン等の端末でも聴取することができます。

★JCBAサイマルラジオ→



放映日は、NCV函館センターの「コミュニティチャンネル番組表」でご確認ください。

★NCV函館センター番組表→



申込方法

申込締切
11月9日
(火)

参加を希望される方は、事前にお申込みをお願いいたします

下記、必要事項を記入の上、メールにて、お申し込み下さい。

(お申込みいただいた方へ、11月10日前後にオンライン視聴用のURL等を送付いたします。)

*定員になり次第、締め切らせていただきます。

*CPD登録を希望の方は、申し込み時にお知らせください。

申込先:北海道開発局事業振興部防災課【担当:黛・杉田】

E-mail: hkd-ky-bousai-mail81@mlit.go.jp

防災・減災シンポジウム 参加申込書 ※下表は直接入力可能です

①氏名	②所属(会社名)	③住所	④電話番号(必須)	⑤E-mail(必須)	⑥CPD登録の有無

*記載された個人情報は、受付整理や当シンポジウムに関する連絡のみに利用し、それ以外の目的には使用しません。